



2024年12月期第1四半期決算概要

2024年5月8日

コクヨ株式会社

目次

1. 2024年12月期 第1四半期実績

2. 参考資料

※ それぞれの事業は以下のように表記しています。

ファニチャー事業=FN
ビジネスサプライ流通事業=BS
ステーションリー事業=ST
インテリアリテール事業=IR

※ 百万円未満を切り捨てています。

そのため内訳と合計及び差額が一致しない場合があります。



【2024年第1四半期実績について】

- ✓ 日本事業を中心に昨年を上回る水準で進捗しており、前年と比べて増収増益で推移
- ✓ 日本事業については、概ね順調に進捗しており、ファニチャー事業における案件確保やステーションナリー事業における売価改定の浸透等が進む
- ✓ 海外事業については、市況の不透明感が強まっており、中国経済の悪化及びインド経済におけるインフレ進行や競争激化による影響を受ける
- ✓ 四半期純利益は、営業増益に加え、固定資産売却益が計上されたこと等により大幅増益

【2024年上期及び通期目標について】

- ✓ 2024年2月13日発表の当初予想数値から変更点なし
- ✓ 海外市況を注視しつつ、日本ファニチャー事業での旺盛な需要継続等により対前年で増収増益を目指す
- ✓ 当期純利益については、順調な事業進捗と政策保有株式売却の進展等により過去最高益、ROE目標の8%は達成する見通し
- ✓ 株主還元については、年間配当金76円(配当性向40.5%)を予定

A photograph of a modern building's courtyard. The building has a light-colored facade and a prominent red balcony with a glass railing. The courtyard is paved and features several trees, including a large one on the left and another on the right. In the center, there is a wooden wall with a row of white chairs. In the foreground, there are two ping-pong tables and several white chairs and tables. The overall atmosphere is bright and modern.

1. 2024年12月期 第1四半期実績

2024年12月期 第1四半期実績（対前年）

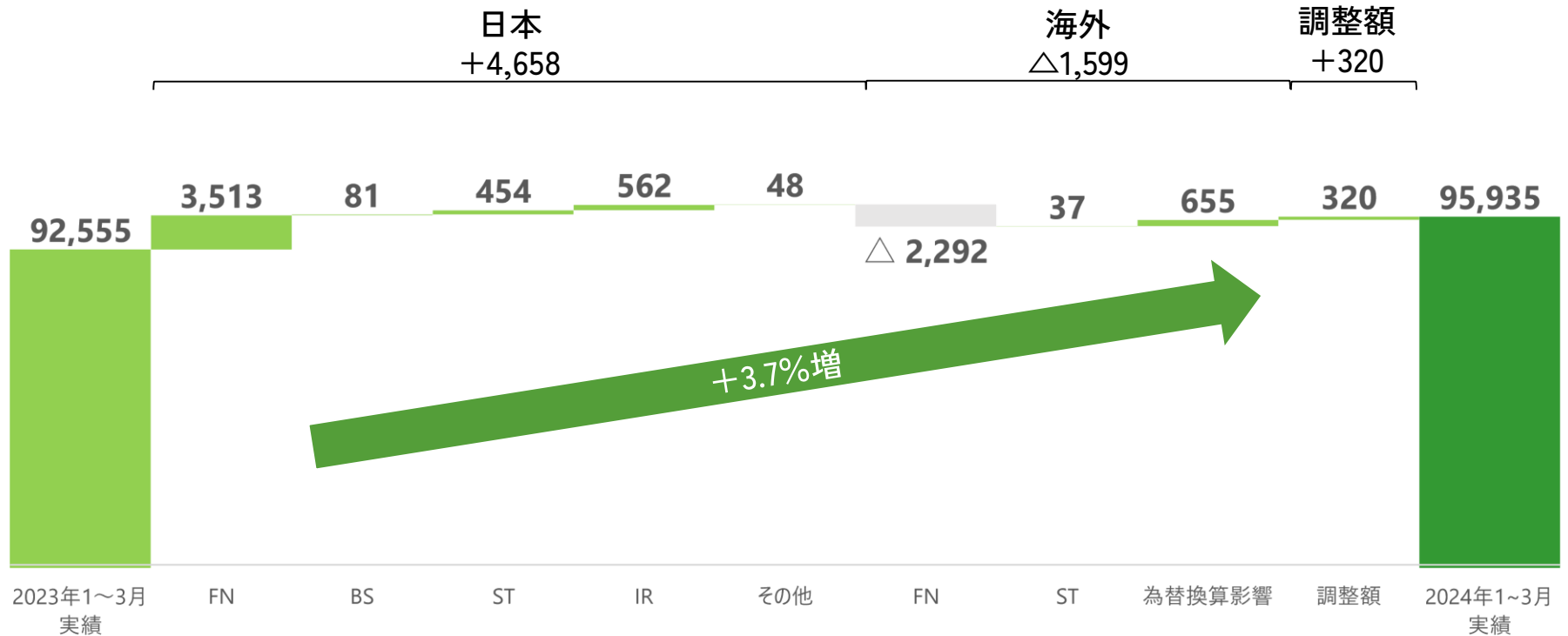
日本事業を中心に概ね昨年を上回る水準で進捗しており、対前年で増収増益
 四半期純利益は、固定資産売却益が計上されたこと等により大幅増益

	2023年1～3月 実績	2024年1～3月 実績	対前年比 増減	対前年比 増減率
売上高	92,555	95,935	+3,379	+3.7%
売上総利益	37,119	39,375	+2,256	+6.1%
（率）	40.1%	41.0%		
販売費及び一般管理費	26,300	27,710	+1,409	+5.4%
（率）	28.4%	28.9%		
営業利益	10,818	11,665	+846	+7.8%
（率）	11.7%	12.2%		
経常利益	11,222	12,565	+1,342	+12.0%
（率）	12.1%	13.1%		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,679	11,978	+4,299	+56.0%
（率）	8.3%	12.5%		

2024年12月期 第1四半期実績（売上高分析：対前年）

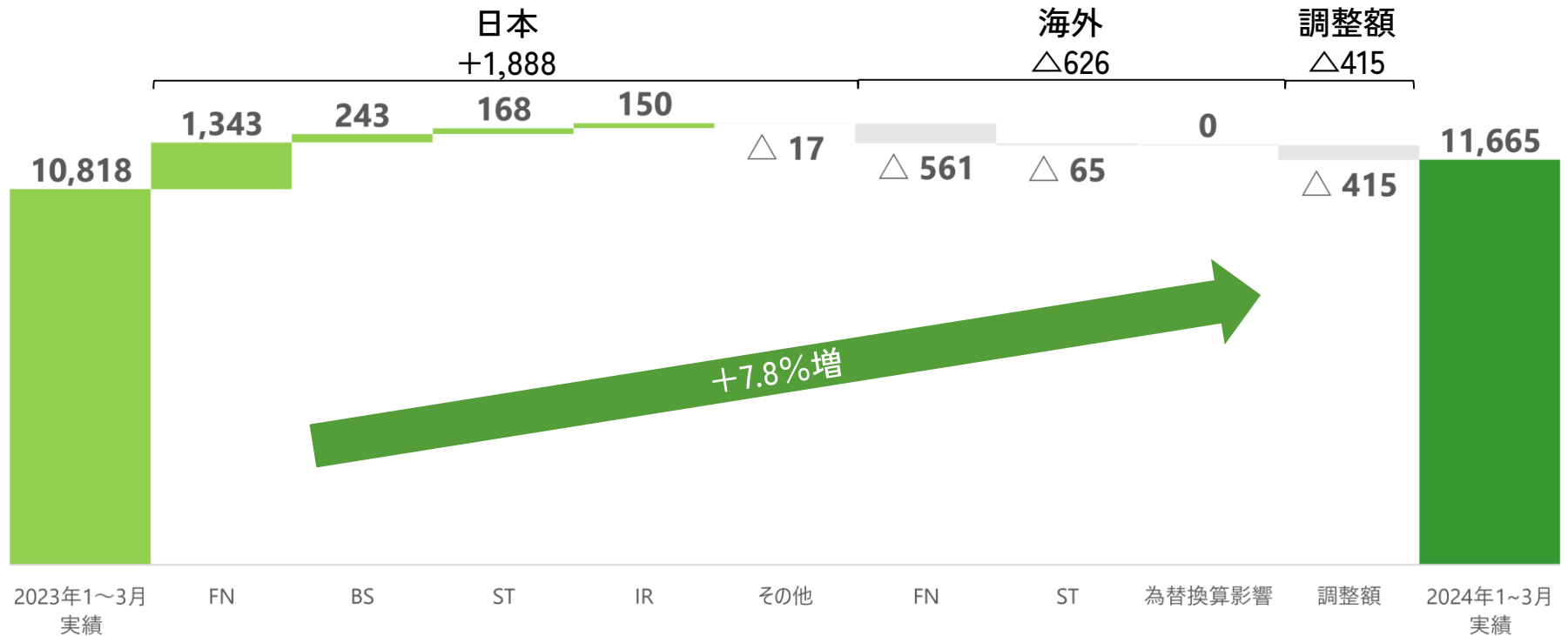
日本：案件獲得が順調に進捗するFNを中心に増収
 海外：市況の悪化影響を受けるFNで減収

単位：百万円



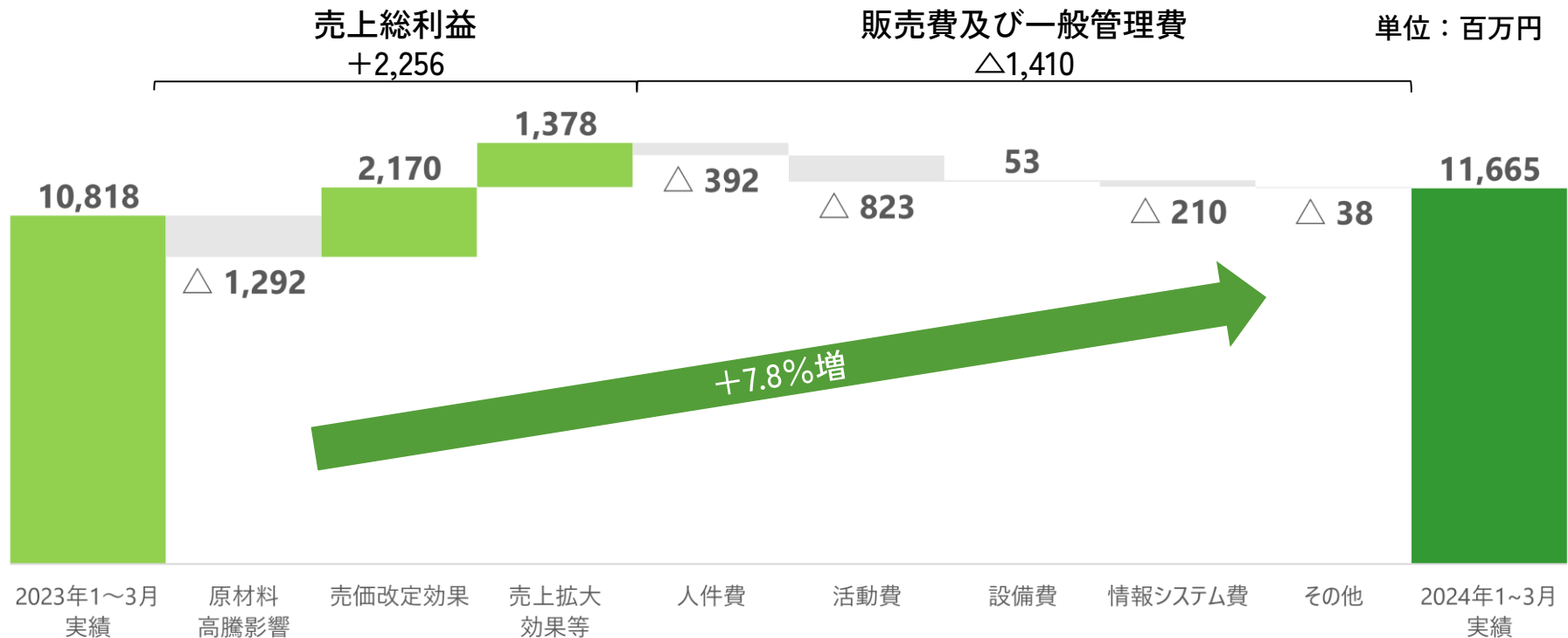
海外事業が減益となるも、日本FNにおける増収効果や収益改善等により増益

単位：百万円



営業利益増減分析：対前年

コスト増影響を受けるも、日本STやBSを中心に売価改定効果が継続
第4次中計を見据え、戦略経費を積極支出



地域別の状況

日本においては、想定に近い市場環境の元で需要の確保が進展
海外においては、想定を超える市況変動により各事業が影響を受ける

<地域>	<当初想定>	<市況の変化>	<影響>	<今後の取り組み>
日本	旺盛なビル供給量や 低空室率といった 堅調な市場環境	概ね想定通り	FN：好調な需要確保	リニューアルや地方案件 等の更なる幅広い需要 確保
中国・ 香港	経済状況の不透明感が 継続	経済状況の悪化	FN：案件の獲得が想 定より伸びず ST：成長鈍化	FN:案件の着実な確保 輸出強化、PMI推進 ST:新規店舗開拓、 プロモーション施策 改善
インド	好調な経済環境	<ul style="list-style-type: none"> ・経済は好調に推移 ・インフレ進行による 消費冷え込み ・競争激化 	ST：成長鈍化	ST:新商品カテゴリー投入 プロモーション施策 改善

2024年12月期通期目標(対前年)

2024年2月13日発表の当初予想数値から変更なし

次期中計を見据えた投資を積極的に実施し、更なる成長に向けた取り組みを推進

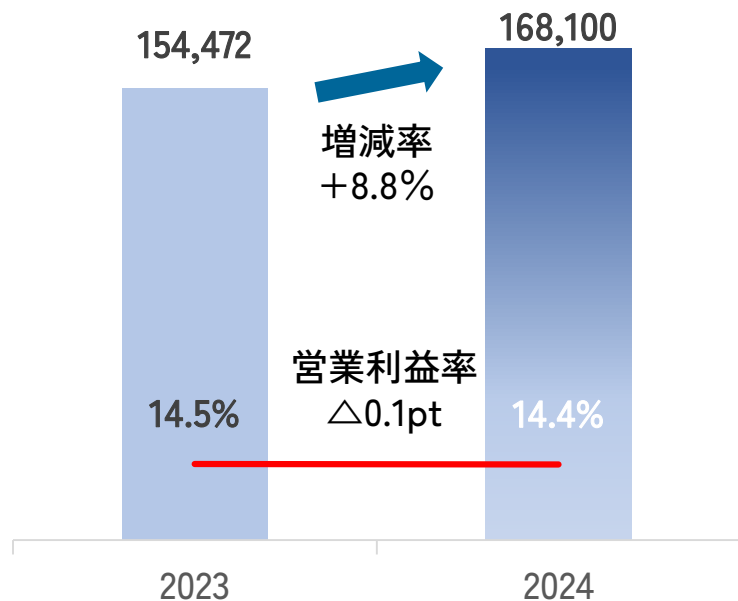
	2023年 実績	2024年 業績目標	対前年比 増減	対前年比 増減率	単位：百万円
売上高	328,753	355,000	+26,247	+8.0%	
売上総利益	127,392	140,100	+12,708	+10.0%	
(率)	38.8%	39.5%			
販売費及び一般管理費	103,561	115,600	+12,039	+11.6%	
(率)	31.5%	32.6%			
営業利益	23,830	24,500	+670	+2.8%	
(率)	7.2%	6.9%			
経常利益	25,989	25,500	△489	△1.9%	
(率)	7.9%	7.2%			
親会社株主に帰属する 当期純利益	19,069	21,400	+2,331	+12.2%	
(率)	5.8%	6.0%			
ROE	7.8%	8%超			

ワークスタイル領域：ファニチャー事業

日本ではシェア拡大と効率化、海外では生産改善や販売改善に取り組む
第1四半期は、海外では中国経済の悪化影響を受けるも、日本において順調に進捗

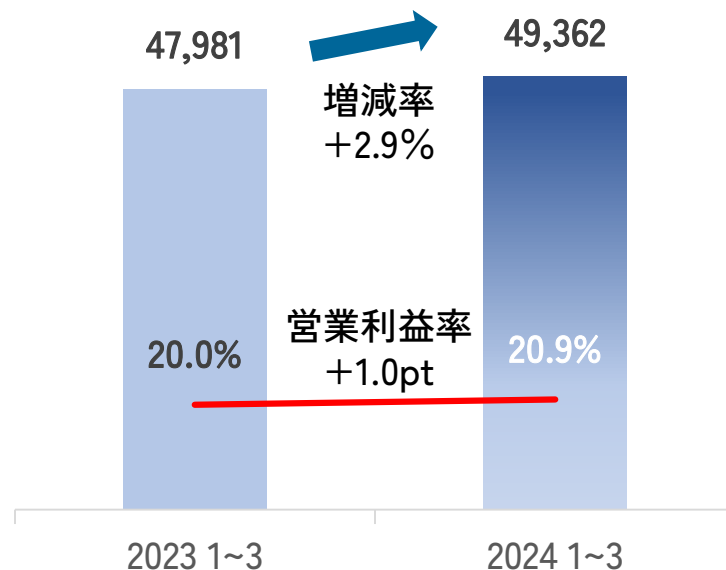
通期目標(売上高、営業利益率)

単位：百万円



第1四半期実績(売上高、営業利益率)

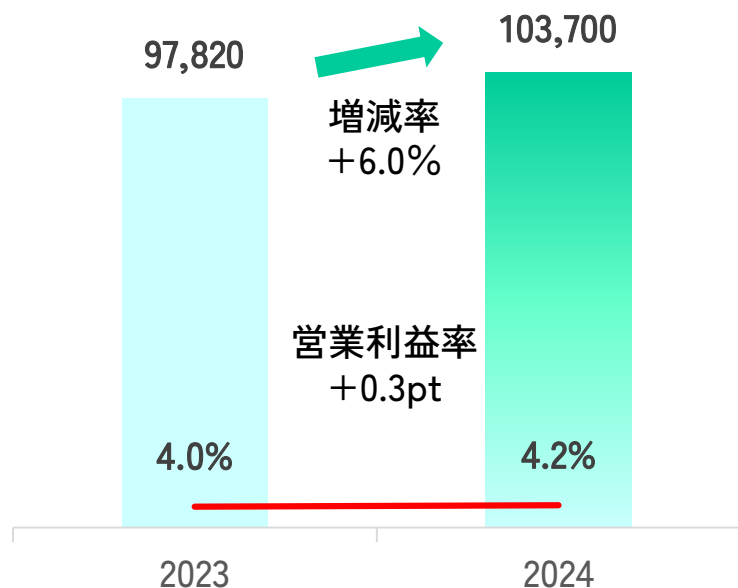
単位：百万円



大規模顧客向けソリューションシステムの強化と更なるEC化等によって業績拡大を目指す
第1四半期は、施策の進捗や配送料改定等による収益改善が進む

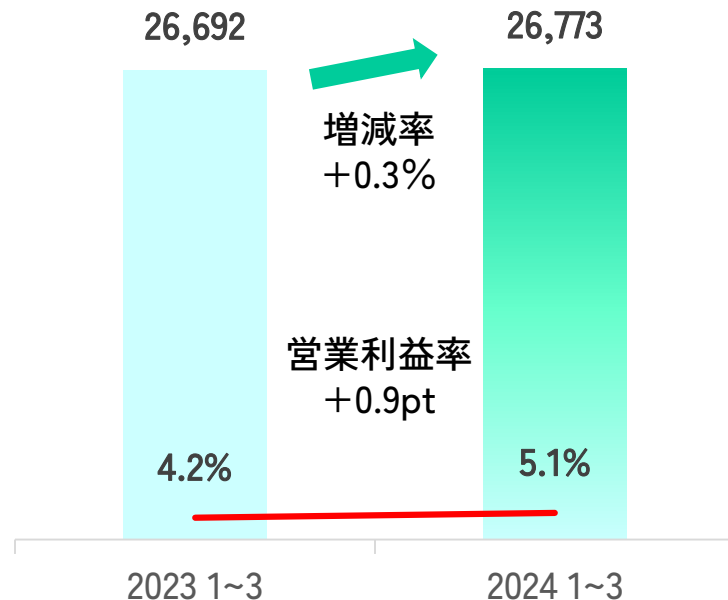
通期目標(売上高、営業利益率)

単位：百万円



第1四半期実績(売上高、営業利益率)

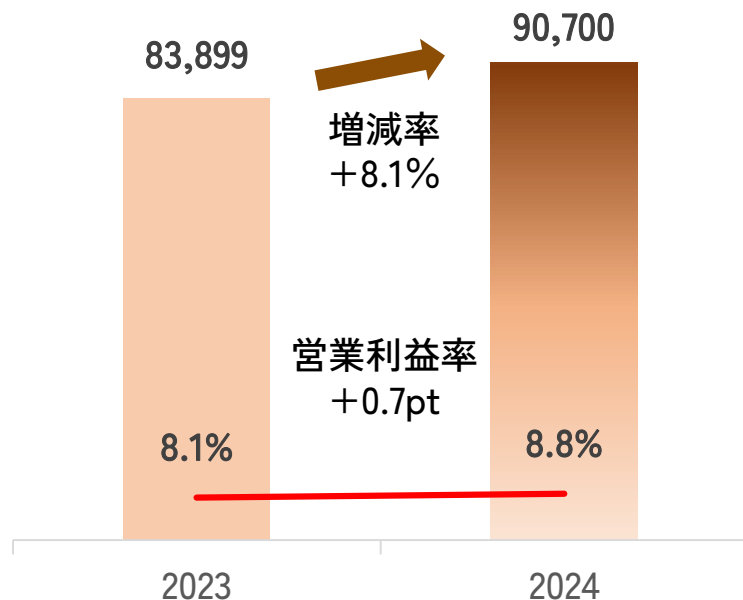
単位：百万円



日本では収益確保やECの拡大、海外では更なる地域展開による業績拡大を目指す
第1四半期は、海外は市況悪化影響を受けるも、日本における売価改定の浸透等により増収増益

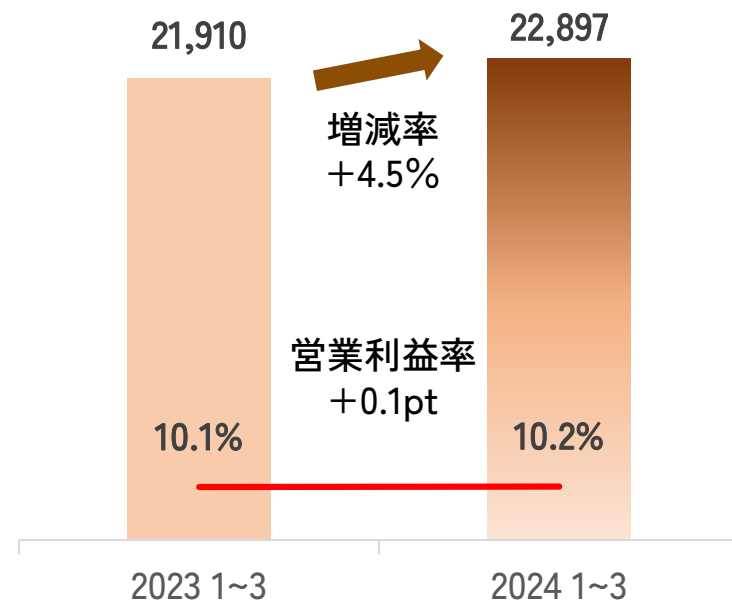
通期目標(売上高、営業利益率)

単位：百万円



第1四半期実績(売上高、営業利益率)

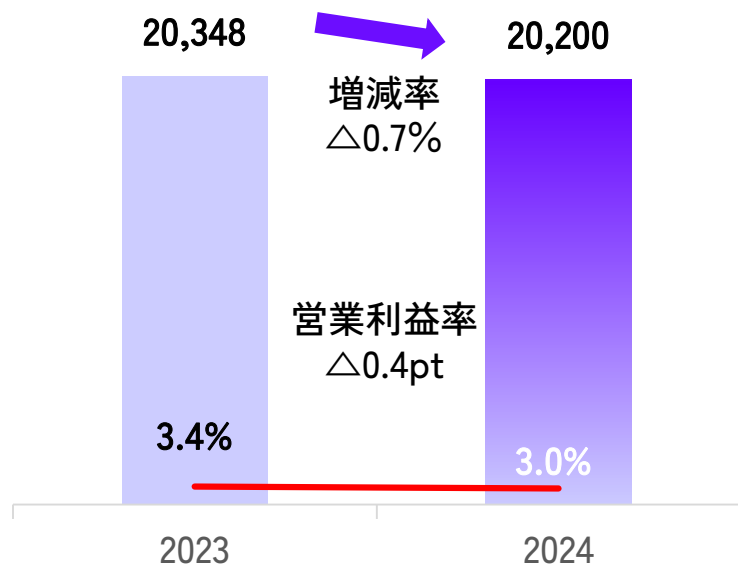
単位：百万円



厳しい事業環境の中、新規出店やEC強化、B to B案件獲得に取り組み、業績確保を目指す
第1四半期は円安が進行する中、販促強化に取り組み増収増益

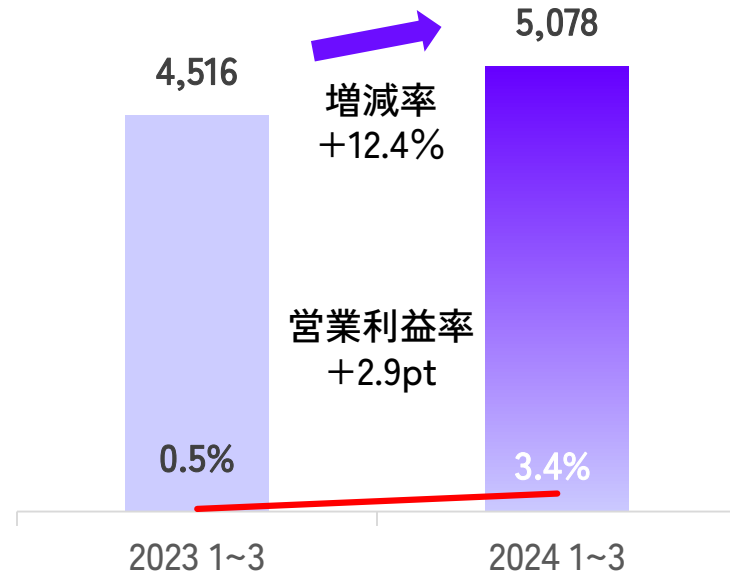
通期目標(売上高、営業利益率)

単位：百万円



第1四半期実績(売上高、営業利益率)

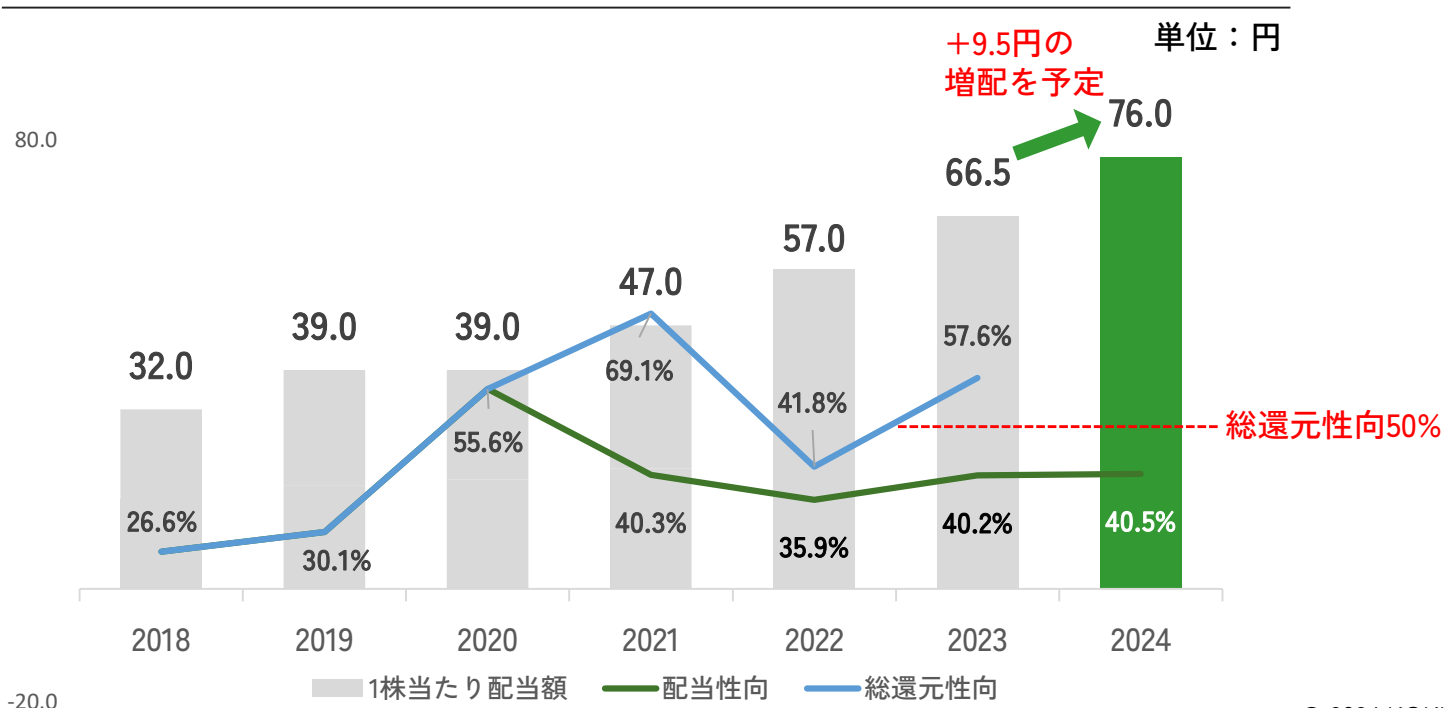
単位：百万円



株主還元

第3次中計においては、配当性向40%と総還元性向50%を目指して株主還元を実施しており、2024年は年間配当金76円(配当性向40.5%)を予定

<配当額及び配当性向の推移>



2. 参考資料

長期ビジョンCCC2030の達成に向けて

森林経営モデルにより2030年に売上高5,000億円を目指し、
サステナブルに成長していく多様な事業の集合体へ

「森林経営モデル」ヘシフト

● 企業理念

be Unique.

● コクヨの強み

共感共創

● 成長戦略

顧客体験価値の拡張

● グループ共通資産

実験カルチャー



売上3,000億円から、2030年、5,000億円へ。

新規ニーズの事業化 売上高 500~1,000 億円	オフィス 運用領域	人材価値 領域	探求学習 領域	コリビング 領域
既存事業の 領域拡張 売上高 1,000億円	ハイブリット ワークプレイス 領域		ライフスタイル ツール領域	
既存事業の ブラッシュ アップ 売上高 3,000億円	ファニ チャー事業	ビジネス サプライ 流通事業	ステーショ ナリー 事業	インテリア リテール 事業

2030年 売上トータル
5,000億円

売上3,000~3,500億円以上
2020年比 +1,000~1,500億円

売上1,500~2,000億円以上
2020年比 +500~1,000億円

領域拡張戦略：ワークスタイル領域

働く場の変化や多様化に即して領域拡張を推進

ワークスタイル領域 2030年 3,000～3,500 億円	ファニチャー事業	ニューノーマルなオフィス空間、働き方の在り方をデザイン ✓商材の拡大、設計・内装施工能力の強化 ✓「オフィス運用」「人材価値」領域で研究開発
	ビジネスサプライ流通事業	働く場の多様化に合わせた企業購買の効率化と提供商材の拡大 ✓大規模顧客向けソリューションシステムの導入 ✓ダイレクトマーケティング機能を活かした提供商材の拡大

<富士フイルム（株）「FUJIFILM Creative Village」>

- ・コクヨで初めて新築ビルの立地検討から参画
- ・基本計画から参画し、内装の設計や施工を請け負った



<オフィスで使用する生活用品ブランド「KOKUYO HibiFull」>

- ・カウネットをコクヨグループマーケティングエンジンとして活用
- ・オフィスで使用する生活用品分野へ新たに領域を拡張



学びや暮らしの変化や多様化に即して領域拡張を推進

ライフ スタイル領域 2030年 1,500～2,000億 円	ステーショナ リー事業	自己表現ニーズの高まりに対応した付加価値文具の提供 ✓中国ではライフスタイルツールへの展開が奏功 ✓その他アジア諸国全般への展開
	インテリア リテール 事業	コロナ禍を契機に拡大したECニーズを捉える ✓EC売上高比率を高め、店舗とECを統合したマーケティング戦略を推進

<中国における女子文具需要の獲得>

- ・女子中高生の学びをターゲットとした戦略策定
- ・ECを活用してニーズを的確に捉え急速に存在感を拡大



「PASTEL COOKIE SORA」シリーズ

<女子文具需要の拡がり>

- ・中国では、直営店舗の展開により存在感拡大
- ・アジア諸国への展開により、ファン層拡大を目指す



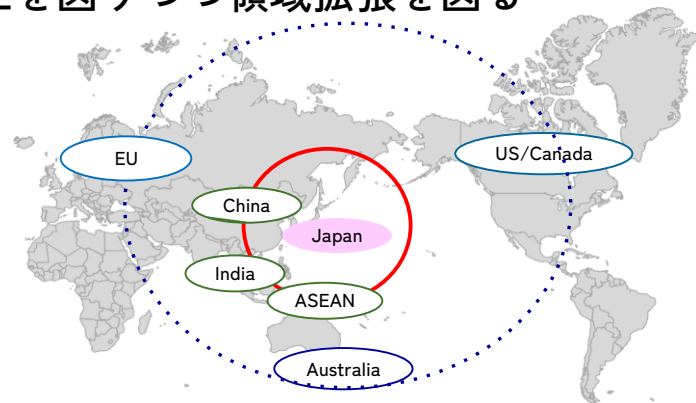
直営店舗「CAMPUS STYLE」



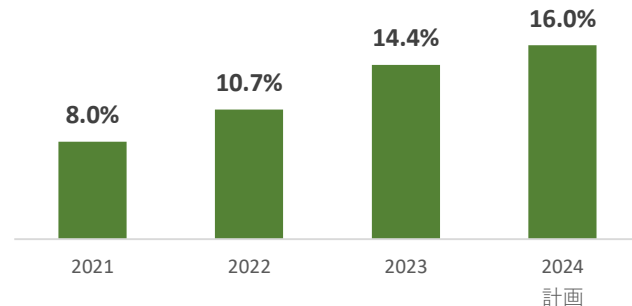
POP UPショップ(タイ)

領域拡張に向けたグローバル戦略

事業領域をグローバルで面として捉え、グループの持つ強みを市場全体で最大限発揮する
 グローバルパートナーシップに基づき、効率性向上を図りつつ領域拡張を図る



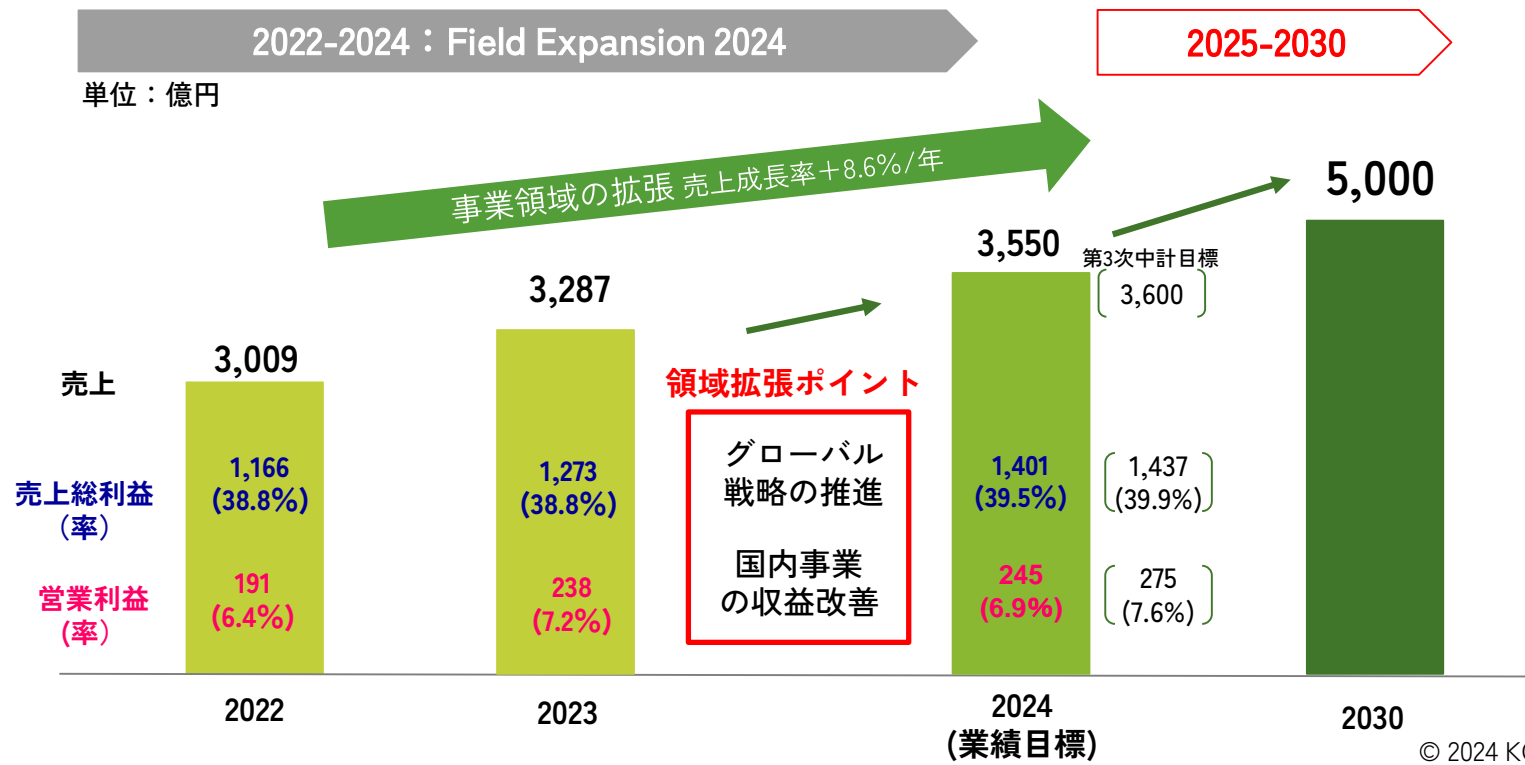
<海外売上高推移>



地域	方針
中国・香港	<FN> ・コクヨ香港を、中国・アセアン地域戦略の核に、地域全体戦略検討 -PMI推進、グループ間シナジーの早期発出 -コクヨ香港を活用した機能統合により地域全体の販売拡大や収益改善 <ST> ・学生をターゲットとしたライフスタイルツール化及びその他地域展開検討 ・認知度向上に向けたSNS積極活用と直営店舗展開によるチャンネル開拓
インド	<ST> ・学童・学生・ホビー向け付加価値文具展開、収益性改善
アセアン	<FN> ・コクヨ香港活用によるクロスセル実施 <ST> ・中国で成果を挙げる取り組みの他地域展開向けテストマーケティング実施
その他	・オーストラリアや北米といったアジア以外の地域での取り組み検討

長期ビジョンCCC2030実現に向けて第3次中計を推進

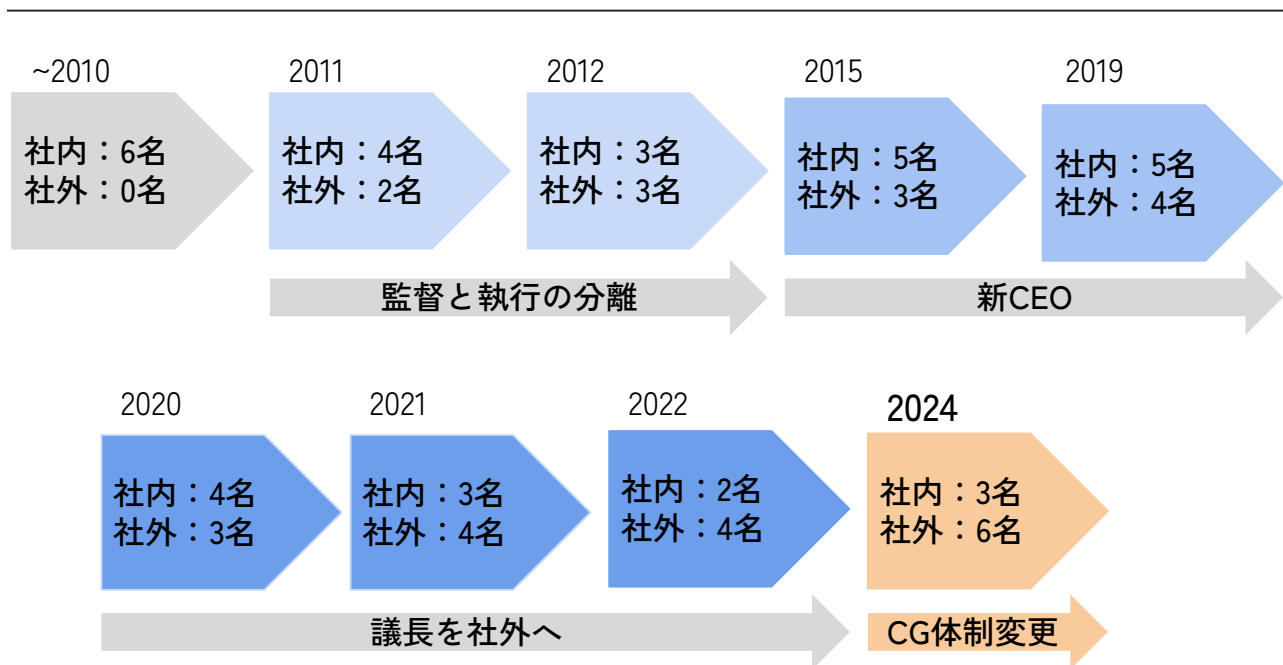
グローバル戦略の推進と国内事業の収益改善による事業領域拡張を目指す



更なるコーポレートガバナンスの充実へ

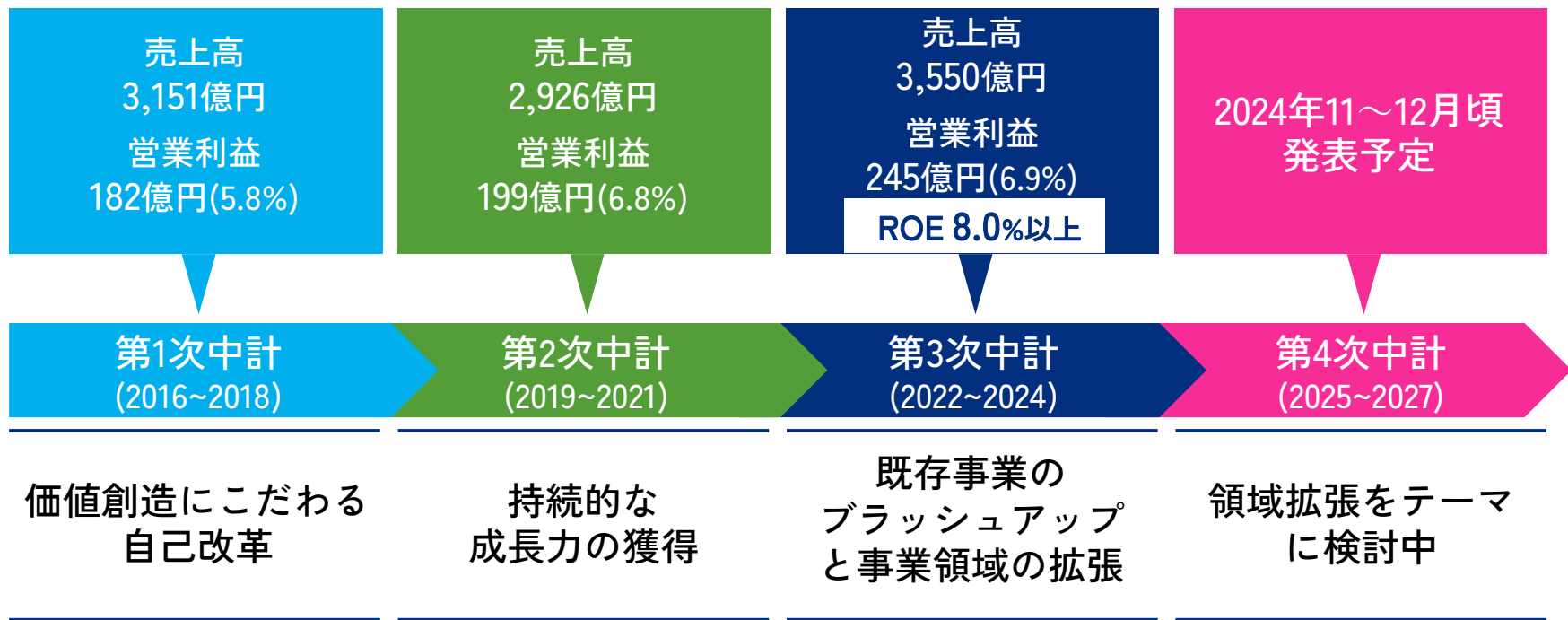
指名委員会等設置会社へ移行し、監督機能強化とともに執行権限拡大と意思決定スピード向上を図り、グローバル基準での体制構築を目指す

<取締役会における変化>



新中期経営計画の策定に向けて

本年末に向けて、2025年から始まる第4次中計策定を推進中
更なる領域拡張による業績拡大を狙う



※1.業績数値は各中計における実績値あるいは目標値
2.第2次中計以前の数値は新収益認識基準適用前

第1四半期業績推移

単位：百万円

	2021年 1~3月 実績	2022年 1~3月 実績	2023年 1~3月 実績	2024年 1~3月 実績
売上高	83,692	86,437	92,555	95,935
売上総利益	33,970	34,947	37,119	39,375
(率)	40.6%	40.4%	40.1%	41.0%
販売費及び一般管理費	24,013	24,904	26,300	27,710
(率)	28.7%	28.8%	28.4%	28.9%
営業利益	9,956	10,043	10,818	11,665
(率)	11.9%	11.6%	11.7%	12.2%
経常利益	5,383	10,688	11,222	12,565
(率)	6.4%	12.4%	12.1%	13.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,172	7,681	7,679	11,978
(率)	2.6%	8.9%	8.3%	12.5%

第1四半期業績推移(セグメント別)

		2021年 1～3月 実績	2022年 1～3月 実績	2023年 1～3月 実績	2024年 1～3月 実績	
ワークスタイル領域	売上高	68,776	69,575	74,674	76,136	
	営業利益 (率)	9,033 13.1%	9,461 13.6%	10,704 14.3%	11,702 15.4%	
	ファニチャー事業	売上高	42,476	43,201	47,981	49,362
		営業利益 (率)	8,162 19.2%	8,386 19.4%	9,585 20.0%	10,340 20.9%
		ビジネスサプライ流通事業	売上高	26,300	26,373	26,692
	営業利益 (率)		870 3.3%	1,075 4.1%	1,118 4.2%	1,361 5.1%
	ライフスタイル領域		売上高	24,210	25,193	26,427
		営業利益 (率)	2,494 10.3%	2,624 10.4%	2,230 8.4%	2,512 9.0%
		ステーションナリー事業	売上高	19,880	20,559	21,910
営業利益 (率)	2,237 11.3%		2,352 11.4%	2,207 10.1%	2,338 10.2%	
インテリアリテール事業	売上高		4,330	4,633	4,516	5,078
	営業利益 (率)	257 5.9%	271 5.8%	23 0.5%	173 3.4%	
	その他	売上高	127	119	92	140
営業利益 (率)		3 2.4%	△ 14 -	△ 63 -	△ 80 -	
調整額		売上高	△ 9,422	△ 8,450	△ 8,637	△ 8,317
	営業利益	△ 1,575	△ 2,027	△ 2,053	△ 2,468	
合計	売上高	83,692	86,437	92,555	95,935	
	営業利益 (率)	9,956 11.9%	10,043 11.6%	10,818 11.7%	11,665 12.2%	

単位：百万円

通期業績推移

単位：百万円

	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2024年 目標
売上高	292,617	300,929	328,753	355,000
売上総利益	113,526	116,671	127,392	140,100
(率)	38.8%	38.8%	38.8%	39.5%
販売費及び一般管理費	93,618	97,543	103,561	115,600
(率)	32.0%	32.4%	31.5%	32.6%
営業利益	19,907	19,128	23,830	24,500
(率)	6.8%	6.4%	7.2%	6.9%
経常利益	16,415	21,161	25,989	25,500
(率)	5.6%	7.0%	7.9%	7.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,703	18,237	19,069	21,400
(率)	4.7%	6.1%	5.8%	6.0%
ROE	6.0%	7.8%	7.8%	8%超

通期業績推移(セグメント別)

		2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2024年 目標	
ワークスタイル領域	売上高	229,463	230,200	252,293	271,800	
	営業利益	20,302	19,792	26,351	28,600	
	(率)	8.8%	8.6%	10.4%	10.5%	
	ファニチャー事業	売上高	136,058	134,886	154,472	168,100
		営業利益	17,744	16,523	22,458	24,200
		(率)	13.0%	12.2%	14.5%	14.4%
	ビジネスサプライ流通事業	売上高	93,405	95,314	97,820	103,700
		営業利益	2,557	3,269	3,892	4,400
		(率)	2.7%	3.4%	4.0%	4.2%
ライフスタイル領域	売上高	90,745	98,173	104,248	110,900	
	営業利益	7,014	7,873	7,501	8,600	
	(率)	7.7%	8.0%	7.2%	7.8%	
	ステーションナリー事業	売上高	72,702	78,457	83,899	90,700
		営業利益	6,069	6,786	6,802	8,000
		(率)	8.3%	8.6%	8.1%	8.8%
	インテリアリテール事業	売上高	18,043	19,716	20,348	20,200
		営業利益	944	1,087	698	600
		(率)	5.2%	5.5%	3.4%	3.0%
その他	売上高	441	413	438	700	
	営業利益	10	△ 133	△ 370	△ 500	
	(率)	2.3%	-	-	-	
調整額	売上高	△ 28,034	△ 27,857	△ 28,226	△ 28,400	
	営業利益	△ 7,418	△ 8,404	△ 9,651	△ 12,200	
合計	売上高	292,617	300,929	328,753	355,000	
	営業利益	19,907	19,128	23,830	24,500	
	(率)	6.8%	6.4%	7.2%	6.9%	

単位：百万円

〒108-8710 東京都港区港南1-8-35 THE CAMPUS

コクヨ株式会社 理財本部 IR室

E-Mail : ir@kokuyo.com

KOKUYO

※本資料で記載されている業績予想、将来予測は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい